

平成 28 年 10 月 14 日 (金)

瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局

三木、今瀧

TEL:087-813-0853、FAX:087-813-0858

(今瀧)090-5276-4300

瀬戸内国際芸術祭 2016 秋会期 アジアの地域づくり関係者が集う 「瀬戸内アジアフォーラム」オープニングセッション

10 月 18 日 (火) 9 時 30 分から かがわ国際会議場にて開催！！

平成 28 年 9 月 30 日付けの報道提供資料にてご案内したとおり、アジア各国・地域でアートによる地域づくりに取り組む人々が共に集い、学び合い、語り合う「瀬戸内アジアフォーラム」を 10 月 17 日 (月)～21 日 (金) の 5 日間に渡って開催します。

このうち、10 月 18 日 (火) のかがわ国際会議場で開催のオープニングセッションは、一般の方にも公聴頂けるプログラムとなっておりますので、ぜひ告知にご協力いただくとともに、ご取材賜りますようお願い申し上げます。

開催概要:

日時: 2016 年 10 月 18 日 (火) 9:30～17:00

会場: かがわ国際会議場

定員: 200 人 (申込先着順)、料金: 入場無料

申込方法/申込先: 電話にて、瀬戸内国際芸術祭総合インフォメーションまで TEL 087-813-2244

申し込み期限 10 月 17 日 (月) 17:00 迄

その他: 同時通訳つき (日英中 3 か国語)

プログラム:

第 1 部 「瀬戸内アジアフォーラム」が目指すもの 9:30-10:45

開会あいさつ 浜田恵造 (瀬戸内国際芸術祭実行委員会会長、香川県知事)

基調講演①「アジアに文化の時代」

青木保 (国立新美術館館長、文化人類学者)

基調講演②「美しい農村をつくるためのアート実践」

羅楊 (中国民間文芸家協会前副会長 / 中国)

基調講演③「直島開発の経緯と目指すもの——直島メソッド」

福武總一郎 (瀬戸内国際芸術祭総合プロデューサー / 福武財団理事長)

第 2 部 多様性のアジア 11:00-13:00

問題提起「世界の同時代的視点からアジアとアートを考える」

北川フラム (瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)

アジアの現場からの報告

①「アートはアジアをひらく: アート活動を通して東南アジアをつなぐ」

アピナン・ポーサーヤナン (タイ文化省前事務次官 / タイ)

②「先住民文化と現代アートをつなぐ〜バギオの経験」

ベネディクト・カブレラ (ベンカブ・アートファンデーション会長、ベンカブ・ミュージアム・ディレクター兼キュレーター、フィリピン・ナショナル・アーティスト / フィリピン)

③「クメール美術工芸の再興」

サレス・スヴァイ (アルティザン・アンコール芸術監督、アーティスト / カンボジア)

- ④ 「“家(ホーム)”と“故郷(ホームランド)”を守る—楽生療養所の物語」
丘如華 (台湾歴史資源経理学会秘書長／台湾)

<昼休憩>

第3部 同時代の世界をみる 14:30-17:00

- ① 「20世紀とは何か」
木畑洋一 (歴史学者、成城大学教授、東京大学名誉教授)
- ② 「25年後の未来 500年後の未来——世代史と世界史を架橋する」
吉見俊哉 (社会学者、東京大学大学院情報学環教授)
- ③ 「文学は世界をつなぐ」
池澤夏樹 (作家、詩人)

※詳細は別添のチラシをご確認ください。

10月18日のオープニングセッションの取材をご希望の方は、下記ページの瀬戸内国際芸術祭2016公式HP「取材申込フォーム」にご記入の上、お申込みください。
取材申込フォーム：<http://setouchi-artfest.jp/press-info/>



瀬戸内アジアフォーラム

オープニングセッション

Setouchi Asia Forum Opening Session



2016. **10.18** [火]
9:30-17:00

かがわ国際会議場
(高松シンボルタワー タワー棟6階)

[定員200名]

※同時通訳つき(日英中3か国語)

参加
無料

講師プロフィール



青木保

Tamotsu Aoki (日本)

文化人類学者 / 国立新美術館長

Cultural Anthropologist / Director General, The National Art Center, Tokyo



羅楊

Luo Yang ロー ヤン (中国)

中国民間文芸家協会前副会長

Former Vice President of Chinese Folk Literature and Art Association



福武總一郎

Soichiro Fukutake (日本)

瀬戸内国際芸術祭総合プロデューサー / 福武財団理事長

General Producer, Setouchi Triennale / Chairman of the Board of the Fukutake Foundatio



北川フラム

Fram Kitagawa (日本)

瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター

General Director, Setouchi Triennale



アピナン・ポーサヤーナン

Apinan Poshyananda (タイ)

タイ王国文化省前事務次官

Former Permanent Secretary Ministry of Culture, Thailand



ベネディクト・カブレラ

Benedicto "BenCab" Cabrera (フィリピン)

ベンカブ・アート・ファンデーション会長、ベンカブ・ミュージアム・ディレクター&

キュレーター、フィリピン・ナショナルアーティスト

Chairman of BenCab Art Foundation, Director and Curator of

BenCab Museum, National Artist of the Philippines



サレス・スヴァイ

Sareth Svay (カンボジア)

アルティザン・アンコール芸術監督 / アーティスト

Artistic director of Artisans Angkor / Artist



丘如華

Chiu Ru-Hua チョー ルーフアー (台湾)

台湾歴史資源経理学会秘書長

Secretary General, Institute of Historical Resources Management



木畑洋一

Yoichi Kibata (日本)

歴史学者 / 成城大学教授、東京大学名誉教授

Historian / Professor of Seijo University, Emeritus professor professor of Tokyo University



吉見俊哉

Shunya Yoshimi (日本)

社会学者 / 東京大学大学院情報学環教授

Sociologist / Professor, Sociology and Cultural Studies University of Tokyo



池澤夏樹

Natsuki Ikezawa (日本)

作家 / 詩人

Author / Poet

プログラム

第1部 「瀬戸内アジアフォーラム」が目指すもの

09:30 - 10:45

開会あいさつ 浜田恵造 (瀬戸内国際芸術祭実行委員会会長、香川県知事)

来賓あいさつ

基調講演① 「アジアに文化の時代」

青木保 (文化人類学者、国立新美術館館長)

基調講演② 「美しい農村をつくるためのアート実践」

羅楊 (中国民間文芸家協会前副会長 / 中国)

基調講演③ 「直島開発の経緯と目指すもの—直島メソッド」

福武總一郎 (瀬戸内国際芸術祭総合プロデューサー / 福武財団理事長)

<休憩>

第2部 多様性のアジア

11:00 - 13:00

問題提起 「世界の同時代的視点からアジアとアートを考える」

北川フラム (瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)

アジアの現場からの報告

① 「アートはアジアをひらく:アート活動を通して東南アジアをつなぐ」

アピナン・ポーサヤーナン (タイ王国文化省前事務次官 / タイ)

② 「先住民文化と現代アートをつなぐ〜バギオの経験」

ベネディクト・カブレラ

(ベンカブ・アート・ファンデーション会長、ベンカブ・ミュージアム・ディレクター兼キュレーター、

フィリピン・ナショナルアーティスト / フィリピン)

③ 「クメール美術工芸の再興」

サレス・スヴァイ (アルティザン・アンコール芸術監督、アーティスト / カンボジア)

④ 「“家”と“故郷”を守る—楽生療養所の物語」

丘如華 (台湾歴史資源経理学会秘書長 / 台湾)

<昼休憩>

第3部 同時代の世界をみる

14:30 - 17:00

① 「20世紀とは何か」

木畑洋一

(歴史学者、成城大学教授、東京大学名誉教授)

② 「25年後の未来 500年後の未来

—世代史と世界史を架橋する」

吉見俊哉

(社会学者、東京大学大学院情報学環教授)

③ 「文学は世界をつなぐ」

池澤夏樹 (作家、詩人)

Access Map



瀬戸内国際芸術祭2016

瀬戸内アジアフォーラム

瀬戸内国際芸術祭実行委員会(会長:浜田恵造香川県知事)では、アートによる地域づくりとして瀬戸内国際芸術祭の取組みが海外からも注目されていることから、芸術祭2016秋会期において、アジア各国・地域でアートによる地域づくりに取り組む人々が共に集い、学び合い、語り合う「瀬戸内アジアフォーラム」を10月17日(月)～21日(金)の5日間に渡って開催し、芸術祭の一層の盛り上げを図ります。

SETOUCHI
TRIENNALE
2016

オープニングセッション

Setouchi Asia Forum
Opening Session

10月18日(火)

瀬戸内アジアフォーラムのオープニングとして、10月18日(火)にかがわ国際会議場において、アジア各国・地域の第一線で活躍する文化・芸術の活動家、地域づくり関係者等による、公開セッションを開催いたします。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

アジア諸国からの参加者約40名を対象に、下記プログラムにて開催します。

10月17日(月) 視察ツアー(女木島、男木島、豊島)及び セッション① 北川フラムのアートプロジェクト(会場:[高松市])

- 1.「北川フラムのアートプロジェクト 大地の芸術祭・瀬戸内国際芸術祭以前」
北川フラム(瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)
- 2.「地理学・博物学的世界としての美術—北川フラムの美術観」
ジャン=ミッシェル・アルペローラ(アーティスト/フランス)

10月19日(水) 視察ツアー(小豆島)及び セッション② アジア美術の展開(会場:福武ハウス[小豆島町福田])

- 1.「美術の誘惑、歴史の抵抗:東南アジアにおける美術史の誘惑への抵抗」
パトリック D.フロレス(美術史家、フィリピン大学教授、ヴァルガス美術館キュレーター/フィリピン)
- 2.「なぜテートはアジア・アートをコレクションするのか」
スギョン・イ(テート・シニアリサーチキュレーター/韓国/イギリス)
- 3.「グローバル時代におけるアジアの建築家の自然観」
馬岩松(MAD建築事務所創設者・共同代表/中国)

10月20日(木) セッション③ 地域づくりとアート(会場:福武ハウス[小豆島町福田])

- 1.地元町長あいさつ
塩田幸雄(小豆島町長)
- 2.「瀬戸内と越後妻有におけるアートによる地域づくり」北川フラム
- 3.「越後妻有における農業女子サッカーチームの試み」
坂口淳(日本サッカー協会スポーツマネージャーズカレッジ・ディレクター)
- 4.「瀬戸内・男木小中学校の再開」
福井大和(男木地区連合自治会会長)
- 5.アジアの参加団体からのプレゼンテーション

セッション④ 産業とアート(会場:福武ハウス[小豆島町福田])

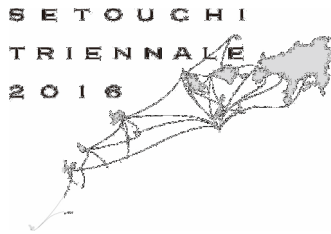
- 1.「日本全国の物産をデザインするなかで見えてきたこと」
ナガオカケンメイ(デザイン活動家)
- 2.「地域発デザインの力～鯖江のメガネフレームを世界へ」
小松原一身(BOSTON CLUB Co., Ltd.代表取締役)
- 3.「アート×農業×観光～ジム・トンプソン・ファームの取り組み」
パホンチャイ・ブレンジャイ(ジム・トンプソン・ファーム建築家、デザイナー、アドバイザー/タイ)
- 4.アジアの参加団体からのプレゼンテーション

分科会

10月21日(金) クロージングセッション(会場:福武ハウス[小豆島町福田])

- 1.「分科会報告」
- 2.「総括」北川フラム

※講師及び内容については、変更となる場合があります。



平成 28 年 9 月 30 日 (金)
瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局
三木、今瀧
TEL:087-813-0853、FAX:087-813-0858
(今瀧)090-5276-4300

瀬戸内国際芸術祭 2016 秋会期

「瀬戸内アジアフォーラム」オープニングセッション開催

10月18日(火) かがわ国際会議場

アートによる地域づくりを学ぶ

瀬戸内国際芸術祭実行委員会(会長:浜田恵造香川県知事)では、アートによる地域づくりとしての瀬戸内国際芸術祭の取組みが海外からも注目されていることから、芸術祭 2016 秋会期においてアジア各国・地域でアートによる地域づくりに取り組む人々が共に集い、学び合い、語り合う「瀬戸内アジアフォーラム」を10月17日(月)~21日(金)の5日間に渡って開催し、芸術祭の一層の盛り上げを図ります。

そのオープニングとして、10月18日(火)にかがわ国際会議場において、アジア各国・地域の第一線で活躍する文化・芸術の活動家、地域づくり関係者等による、公開セッションを開催いたします。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催概要:

日時:2016年10月18日(火)9:30-17:00

会場:かがわ国際会議場

定員:200人(申込先着順)、料金:入場無料

申込方法/申込先:電話にて、瀬戸内国際芸術祭総合インフォメーションまで TEL 087-813-2244

その他:同時通訳つき(日英中3か国語)

プログラム:

第1部 「瀬戸内アジアフォーラム」が目指すもの 9:30-10:45

開会あいさつ 浜田恵造(瀬戸内国際芸術祭実行委員会会長、香川県知事)

基調講演①「文化力の時代~アートに期待するもの~」

青木保(国立新美術館館長、文化人類学者/日本)

基調講演②「美しい農村をつくるためのアート実践」

羅楊(中国民間文芸家協会前副会長/中国)

基調講演③「直島開発の経緯と目指すもの——直島メソッド」

福武総一郎(瀬戸内国際芸術祭総合プロデューサー/福武財団理事長)

第2部 多様性のアジア 11:00-13:00

問題提起「世界の同時代的視点からアジアとアートを考える」

北川フラム(瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)

アジアの現場からの報告

①「アートはアジアをひらく:アート実践による東南アジアの連結」

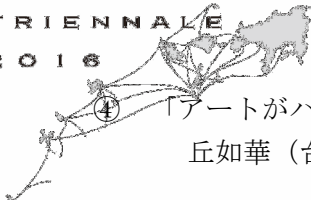
アピナン・ポーサヤーナン(タイ文化省事務次官/タイ)

②「先住民文化と現代アートをつなぐ~バギオの経験」

ベネディクト・カブレラ(ベンカブ・アートファンデーション会長、ベンカブ・ミュージアム・ディレクター兼キュレーター、フィリピン・ナショナル・アーティスト/フィリピン)

③「クメール美術工芸の再興」

サレス・スヴォイ(アーティザン・アンコール芸術監督/カンボジア)



④ 「アートがハンセン病施設を地域にひらく」

丘如華（台湾歴史資源経理学会秘書長／台湾）

<昼休憩>

第3部 同時代の世界をみる 14:30-17:00

- ① 「20世紀とは何か」
木畑洋一（歴史学者、東京大学名誉教授／日本）
- ② 「25年後の未来 500年後の未来——世代史と世界史を架橋する」
吉見俊哉（社会学者、東京大学大学院情報学環教授／日本）
- ③ 「文学が世界をつなぐ」
池澤夏樹（作家／日本）

※「瀬戸内アジアフォーラム」全体の概要は、別紙参考資料をご覧ください。

10月18日のオープニングセッションの取材をご希望の方は、下記ページの「取材申込フォーム」
にご記入の上、お申込みください。

取材申込フォーム：<http://setouchi-artfest.jp/press-info/>

＜瀬戸内アジアフォーラム 全体概要＞

アジア諸国からの参加者約 40 名を対象に、下記プログラムにて開催します。

○10月17日（月）

視察ツアー（女木島、男木島、豊島）及び
セッション①（会場：JR ホテルクレメント）

1. 「北川フラムのアートプロジェクト」
北川フラム（瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター）
2. 「地理学・博物学的世界としての美術—北川フラムの美術観」
ジャン=ミッシェル・アルベローラ（アーティスト／フランス）

○10月18日（火）

オープニングセッション（本文ご案内のとおり）

○10月19日（水）

視察ツアー（小豆島）及び
セッション②（会場：福武ハウス（小豆島福田））

1. 「美術史の書き換えが始まった」
パトリック・フロレス（美術史/フィリピン大学教授、ヴァルガス美術館館長）
2. 「テートモダンなぜアジア・アートをコレクションするのか」
イ・スキョン（テートアジア太平洋リサーチセンター、チーフキュレーター/韓国）
3. 「グローバル化の時代にアジアの建築家はどうか」
馬岩松（建築家/中国）

○10月20日（木）

セッション③（会場：福武ハウス（小豆島福田））

1. 「瀬戸内と越後妻有における地域づくり」北川フラム
2. 「越後妻有における農業女子サッカーチームの試み」
坂口淳（日本サッカー協会スポーツマネージャーズカレッジディレクター）
3. 瀬戸内の現場からの報告「瀬戸内・男木小中学校の再開」
福井大和（男木地区連合自治会会長） 他
4. 地域づくりとアートに関わる参加団体からのプレゼンテーション

セッション④（会場：福武ハウス（小豆島福田））

1. 「日本全県の物産をデザインするなかで見えてきたこと」
ナガオカケンメイ（デザイン活動家）
2. 「地域発デザインのカ～地元産メガネフレームを世界へ」
小松原一身（ボストンクラブ代表/鯖江市）
3. 「アート×農業×観光～ジム・トンプソン・ファームの取り組み」
パホンチャイ・プレんジャイ（ジム・トンプソン・ファーム建築家&アドバイザー）
4. 地場産業の振興等に取り組む参加団体からのプレゼンテーション

分科会

○10月21日（金）

クロージングセッション（会場：福武ハウス（小豆島福田）ほか）

1. 分科会報告
2. 総括